

26-03-23

～駅の音声放送が見える～
名鉄名古屋駅で音声認識によるリアルタイム翻訳モニター案内の
実証実験を実施します

名古屋鉄道は、株式会社アイシン(本社:愛知県刈谷市、社長:吉田 守孝、以下アイシン)が開発した音声認識アプリ「YYSystem」を活用し、駅係員の音声放送をリアルタイムで文字起こしと多言語翻訳するお客さま案内の実証実験を開始します。この取り組みは日本初の試みで、2026年秋に開催される愛知・名古屋 2026 大会(アジア競技大会・アジアパラ競技大会)に向けた受け入れ体制の強化に向け、4月3日から名鉄名古屋駅にて実施します。

本システムは、話者の発話の癖を学習することで、より高い文字起こし精度を実現する技術「My エンジン」を搭載しており、放送内容をリアルタイムで正確に文字起こし・翻訳し、専用のモニターに表示することができます。この機能により、聴覚に障害をお持ちのお客さまや訪日外国人のお客さまへより円滑なご案内が可能になることが期待されます。

本実証実験を通して、翻訳表示モニターの有用性を分析・検証し、他駅への展開を含めた本導入を目指します。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 実施概要

本実証実験は、運行形態が多岐にわたる名鉄名古屋駅において、情報アクセシビリティの向上および訪日外国人のお客さまへの案内強化を検証します。

・リアルタイム翻訳・文字起こし

駅ホームの放送室から流れる係員の案内音声を、ホーム設置の専用モニターに即座に文字起こしするとともに、多言語翻訳して表示します。

・視覚的な案内の提供

音声情報の確認が困難な聴覚に障害をお持ちの方や、日本語に不慣れなお客さまに対し、運行状況や注意喚起等を視覚的に分かりやすく伝えます。

・対応言語

日本語、英語、韓国語、中国語(簡体字)

2. 実施場所

名古屋本線 名鉄名古屋駅 上りホーム

3. 実施期間

4月3日(金)～2027年3月頃予定

4. 翻訳表示モニターの表示イメージ



翻訳表示モニター

モニターの表示イメージ

以上

(参考)「YYSystem」の概要

製品名称：音声認識システム「YYSystem」

開発会社：株式会社アイシン

特徴：声や音を可視化する独自のアルゴリズムをコアとして「意思疎通支援」を行うアプリケーションシリーズ。聴覚障害のある自社の従業員向けに開発され、現在は外国人に向けた多言語対応ができるようにするなど対象と機能を拡大している。

公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2023年度グッドデザイン賞において「グッドデザイン・ベスト100」に選出。その中から特に秀でた20件の一つとして「グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)」を受賞。

関連サイト：アイシン公式ホームページ <https://www.aisin.com/jp/>

YYSystem 公式サイト <https://yysystem.com/>